

現場を知ることが大切では

判断できる職員育成を図る



こまつ たかし 議員  
小松 孝年

町内業者に幅広く発注するよ  
うな考えをもたないか。

**答** 松田 総務課長

基本的に現場主義は重要と  
考えている。しかし、現実には  
少ない職員数で、多くの業務  
を抱えており、必要不可欠な  
部分の、施工状況確認、現地  
確認をしているのが現状。

**問** すべての課、色々な仕事  
に共通するが、現場に積極的  
に担当職員を向かせ、現場  
の知識や、現状把握、判断能  
力を養うことが大切ではない  
か。

現場を知ることが、将来、  
仕事の効率化や正確性にもつ  
ながるのではないか。

また、入札の不落（不成立）  
があった場合、間違いがなか  
ったか、設計図書を検証をす  
ることが必要ではないか。

更に、小規模な工事を、他  
の大きな工事に付随せずに、

については分割発注して対応  
している。

町の基準では、130万円  
以下の工事の大半は、工事現  
場の近隣の業者数社から見積  
による随意契約の締結をして  
いる。

可能な金額の範囲で指名に  
努めていきたいので、土木・  
建築・電気・水道以外からも、  
できるだけ多くの職種の業者  
に指名願いを提出してほしい。

**問** リフォーム助成制度を活  
用し、高齢者を悪徳業者から  
守り、町内業者の活性化、住  
みよい街づくりにつとめたら  
どうか。

**答** 武政 まちづくり課長

リフォーム制度実施につい  
てはもう少し猶予をいただき  
たい。

町内業者の活性化も併せて  
考えてみると、町内業者は顔  
見知りという点でも安心感が  
ある。そういったことを生か  
し、仕事の合間には、高齢者  
宅を時々訪ねていただき、今、

地域で行っている、見守りと  
いったことも併せて、もっと  
安心して暮らせる、安全に逃  
げられるといった改築のアド  
バイス等も、日常の生活の中  
での営業活動として行ってい  
ただき、助成制度ができたこ  
きに、それが発揮できるよう  
心掛けていただけたらと思っ  
ている。

その他の質問

※町有財産管理について



屋根の改修中（旧早咲保育所）